

# 研修履歴

啓介さん

- 2013.08. 「本気の一週間農業体験 in むかわ」に参加(7泊8日)
- 2013.08. 短期農業体験(2泊3日)
- 2013.10. その後も7泊8日、2泊3日の農業体験を行う
- 2014.01. 長期農業体験(10ヶ月)
- 2014.11. 鶴川研修農場で実践研修
- 2016.11. 独立就農

さつきさん

- 2014.06. 長期農業体験(1年5ヶ月)
- 2015.11. 鶴川研修農場で実践研修
- 2016.11. 独立就農

おおたけ けいすけ

大竹 啓介さん さつきさん



「地域の方々とのコミュニケーションが大事です」

## 経営規模

農地 2.8ha  
 施設 ビニールハウス 100坪×9棟  
 作物 トマト・春レタス 他  
 農業従事者 本人、妻(さつきさん)

## 住宅

農地と合わせ中古住宅を購入  
 圃場に隣接



札幌市で航空関係会社に勤めていた啓介さん。退職後、いろいろな経験を積みたいと、業種関係なくインターネットで仕事を探していたところに偶然、むかわ町で一週間の農業体験ができるイベント情報のサイトに行き着いた。

■平成25年開催「本気の一週間農業体験 in むかわ」に参加した大竹さん。この農業体験をきっかけに、独立就農を考え始めたそうなのですが…

啓介さん「むかわ町新規就農第一人者」小笠原弘義さんの所で農業体験をさせていただき、営農形態を間近で見て影響を受けました。住み込みで実際の農業生活を体験出来て、夜は小笠原さんとお酒を飲みながらいろいろ話を聞けたことが、自分も農業で独立するという考えに変わってきたきっかけとなりました。」

その他にも、新規就農者の受け入れ制度が整っていること、むかわの農業者の方々が歓迎している印象を強く受けたこと、通年型栽培が出来ること、夫婦ともに札幌市に住む両親との距離がむかわ町

と近いこと、そして、インターネットでむかわ町での農業体験募集を見つけてから、実際に体験に至るまでの成り行きにむかわ町との縁を感じたという啓介さん。

体験イベント終了後、半年間、いくつかの農家さんの下で短期農業体験を続けた後にむかわ町へ住所を移し、長期農業体験に入った。

■かつて啓介さんとは同じ職場であり、そこでの出会いをきっかけに結婚されたさつきさん。夫が前職とは畑違いの農業という道に進むことに迷いや戸惑いはありませんでしたか。

さつきさん「農業に興味があったわけではなく、夫に付いて行くか離婚するか考えました。でも、やってみなくちゃわからないし、夫のサポートにまわり、農業の道に進むという勝負をかけてみました。」

啓介さんが長期農業体験に入った半年後には、さつきさんも長期農業体験に入り、その後夫婦で実践型農場での研修も行った。



実践研修時代の 大竹夫妻 (2016年)

■実際に農作業を経験してみてもの率直な感想を教えてください。

さつきさん「作物に手をかけた分、美味しい野菜が出来て成果が見えるところにやりがいを感じます。自分で考えて自分のやりたいように出来る農業が、夫には性に合っているようで、自由にのびのび



仕事をしている夫を見ていて幸せを感じています。」

■平成28年11月に独立就農した大竹さん。

独立後、約半年ほど経ちますが、実践研修農場での作業と現在の作

業と内容の違いはありますか。

啓介さん「今はレタス収穫が終わり、トマト定植準備に入っているところですが、圃場整備の方にも時間をかけることが出来る場所ですね。」

さつきさん「ビニールハウスを長い間きれいに使えるように、より丁寧に扱うようになりました。」

■大竹さんの今後の目標を教えてください。

啓介さん「今はビニールハウス8棟での経営ですが、あと2棟増やして、来年には10棟を夫婦2人で管理できるようにしたいです。そして、家と圃場周辺の山の木を切ったり、圃場の排水用の溝掘りをしていたり圃場整備にも時間を掛けていきたいです。」

さつきさん「夫には、自分が病気や怪我で仕事が出来なくなる方が一に備えて、例えばトラクターに乗れるようにしたりと、ひと通りの流れや作業を私も理解をして出来るように言われています。」

■農業を仕事にしようと考えている方々へメッセージをお願いします。

啓介さん「地域の方々とのコミュニケーションが大事です。農業研修中は受入農家の親方と信頼関係をつくることによって、地域の方々からの信頼もしてもらえます。後々、独立就農に向けて就農地等を決めていくときにも、地域の方々の情報や協力もあってこそなので、普段から日々のコミュニケーションはとても大切だと感じています。」